

ご取材のお願い

平成24年12月7日
東西しらかわ農業協同組合
公益財団法人ヤマト福祉財団

「JA東西しらかわ西部共同農業倉庫」 新築工事の起工式開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第4次助成先の1つである東西しらかわ農業協同組合（福島県白河市）は、平成25年7月の竣工を予定している「JA東西しらかわ西部共同農業倉庫及び矢吹統合支店（仮称）」新築工事の起工式を12月14日（金）午前11時より執り行います。

東西しらかわ農業協同組合は、福島県の県南に位置する白河市、矢吹町、棚倉町、埴町、矢祭町、鮫川村一帯に住む約1万人の農業生産者への支援を行っています。平成15年にはオリジナルブランド米「みりょく満点米」を開発し、米の海外輸出にも力を注いできました。

しかし東日本大震災の激震により全5カ所の農業倉庫が損壊。水路も破損するなど、甚大な被害を受けました。そこで東西しらかわ農業協同組合では、地域の農業生産の復旧、復興を目指し、5カ所に分散していた農業倉庫を東西の2カ所に再編し、米の低温管理が可能な農業倉庫を新設することにいたしました。この倉庫集約により、地域農産物物流の合理化を進めるとともに、常温管理しかできなかった従来の石蔵倉庫に比べ、一層の品質向上を図ります。

ヤマト福祉財団では、最大激震地であった福島県内陸部の農業復興再生を図るため、国の助成対象となっていない農協の農業倉庫の建設費用2億7,000万円を本年2月に助成いたしました。本年9月19日には東部共同農業倉庫（埴町）が竣工し、この度、2棟目となる西部共同農業倉庫（矢吹町）及び矢吹統合支店（仮称）（事務所、農産物直売所等の複合施設）新築工事の起工式を執り行います。



（西部共同倉庫及び矢吹統合支店予定地）



（完成予想図）

福島県、そして東北の復興は途上にあります。震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本起工式を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願い致します。

東西しらかわ農業協同組合 総務部総合企画室長 担当：根本（0248-32-1031）

公益財団法人 ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

記

1. 日時 平成24年12月14日(金) 午前11時00分より

2. 場所 西部共同農業倉庫、矢吹統合支店建設予定地
住所 福島県矢吹町八幡町643番地

3. 主な出席者(敬称略)

- (1) 東西しらかわ農業協同組合 代表理事組合長 鈴木 昭雄
- (2) 東北農政局いわき地域センター長 西本 幸雄
- (3) 福島県南農林事務所長 水戸 典明
- (4) 矢吹町長 野崎 吉郎
- (5) 矢吹町議会議長 栗崎 千代松
- (6) JA福島中央会会長 庄條 徳一
- (7) 公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 有富 慶二

4. 施設概要

(新施設)

- ・低温農業倉庫 鉄骨造 平屋建 折板葺 建物 1,216.29 m² 建築面積 1,304.83 m²
米の標準収容量 28,000 俵
- ・支店事務所 鉄骨造 平屋建 折板葺 建物 925.20 m² 建築面積 1,056.51 m²
- ・直売所 鉄骨造 平屋建 折板葺 建物 166.89 m²
- ・購買店舗 鉄骨造 平屋建 折板葺 建物 164.43 m²
- ・物品倉庫 鉄骨造 平屋建 折板葺 建物 440.95 m²

※直売所、購買店舗、物品倉庫3施設含めて建築面積916.54 m²です。

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設され、本年6月30日をもって募金と助成の募集を終了いたしました。募金は142億円3,608万1,360円となったヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額142億8,448万751円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に、国の補助のつきにくい事業や、単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるための事業に対し、第1次から第5次にかけて、計31件に対し、総額142億6,600万円の助成を行いました。

詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。